

# 平成29年度江南市社会福祉協議会事業報告

## [総括]

「少子高齢・人口減少社会」が進み、地域の実情は深刻な「生活のしづらさ」が増しています。政府は「ニッポン一億総活躍プラン」において、子ども・高齢者・障がい者など支え手と受け手側に分かれるのではなく、誰もが役割を持ち活躍できる「地域共生社会の実現」を掲げています。

このような状況を踏まえ、本会は「ふくしー誰もが  $\textcircled{あ}$ だんの  $\textcircled{く}$ らしの  $\textcircled{あ}$ わせを実現できるまちづくり」を核とし、地域住民や区長・町総代、民生委員児童委員、ボランティア組織及び福祉団体や関係機関等と協働しながら、「1. 相互に支え合う地域づくりの推進」、「2. 総合相談支援体制及び地域で安心して暮らすための仕組みづくりの構築」、「3. 良質な福祉サービスの提供等」、「4. 法人経営基盤の強化」の4点を重点的に展開しながら「総合支援型社協」(コミュニティソーシャルワーク)の構築を目指してまいりました。

28年度及び29年度の2年をかけ、30年度から35年度の6年間を計画期間とした、市行政の総合的な福祉施策の指針を示す「地域福祉計画」と本会の「地域福祉活動計画」を一体的に策定し、市行政とともに、「地域共生社会」の理念を踏まえ、地域特性や社会支援に立脚した諸施策の体系的な位置づけや江南市の地域福祉における方向性の検討を法人全体で取り組んでまいりました。

介護保険制度の改正に伴い、「介護予防・日常生活支援総合事業」(新しい総合事業)への移行や、「江南市生活支援体制整備事業」の受託により生活支援コーディネーターを配置し、市行政や地域包括支援センター、地域関係者と協働し地域づくりを進めてまいりました。

また、社会福祉法人制度改革への対応として、説明責任や地域社会への貢献の在り方、経営組織の見直し等、全部改正した定款に基づく理事会や評議員会等を再編成し、組織経営を行ってまいりました。

## [重点目標の実施状況及び成果]

### 1. 相互に支え合う地域づくりの推進

#### (1) 実施状況

30年度から35年度の6年間を策定期間とする市行政の「地域福祉計画」と本会の「地域福祉活動計画」を一体的に策定し、これからの江南市における地域福祉の方向性や包括支援体制の構築に努めた。

介護保険制度の改正に伴い、市から「江南市生活支援体制整備事業」を受託し、日常生活圏域(地域包括圏域3か所)に生活支援コーディネーターを配置し、関係者と協働し地域づくりを推進した。

## (2) 成果及び今後の対応

○「地域福祉計画・地域福祉活動計画」を基盤とし、市行政や地域住民等と地域づくりを含めた包括支援体制が構築されるよう計画の重点プロジェクトや基本施策を展開していきます。

○生活支援体制整備事業において日常生活圏域配置した生活支援コーディネーターが、市行政や地域包括支援センターと連携し、日常生活圏域（地域包括圏域3か所）での地域づくりの支援として、関係者との地域情報共有及び分析、ネットワーク体制の構築、各種コーディネート（「講師派遣型介護予防運動教室」、「認知症徘徊者声かけ訓練」、「認知症サポーター養成講座」、「ふれあい・いきいきサロン事業」）を行い、地域の居場所づくり等、地域力の向上につながった。

藤ヶ丘地区（江南団地）では、都市再生機構（UR）と江南団地自治会が中心となり常設型コミュニティスペース「ゆう愛ステーションはなみずき」の立ち上げにむけて、市行政や地域包括支援センターと共に活動支援を行った。

○ふれあい・いきいきサロン（地域の生きがい・つどい場所づくり）において、29年度は新規5か所（サロン前飛保）の立ち上げに寄与した。

○江南市民生委員児童委員協議会「地域福祉部会」の事務局として、視察研修、ふくし江南ふれあいまつりのブース出展の支援を行い、民生委員児童委員活動の社会的な認知向上の寄与に努めた。

## 2. 総合相談支援体制及び地域で安心して暮らすための仕組みづくりの構築

### (1) 実施状況

関係機関、団体等と連携し、社会的支援が必要な方への総合相談支援体制の充実や地域で安心して暮らすための仕組みづくりの構築に努めた。

### (2) 成果及び今後の対応

○愛知県社会福祉協議会より「日常生活自立支援事業」を受託し、権利擁護が必要な自己判断能力が乏しい方と契約し、書類や金銭管理を実施し、権利擁護支援を行った。

○市行政より「生活困窮者自立相談支援事業」を受託し、生活困窮者に対する包括的かつ個別的な支援体制の構築を行った。

### 3. 良質な福祉サービスの提供等

#### (1) 実施状況

個人の尊厳を基本とし、利用者の利益を保護し、質の高いサービス提供に努めるとともに、介護保険制度の改正に伴い、介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）へ移行した。

#### (2) 成果及び今後の対応

○介護予防・日常生活支援総合事業（新しい総合事業）へ移行し、介護保険制度改正により介護予防・日常生活支援総合事業の訪問サービス A 型（みなしを含む）を今年度より実施した。

○介護保険法及び障害者総合支援法の指定訪問介護事業者及び居宅介護支援事業者として、訪問介護員及び介護支援専門員等の人材確保及び研修を実施し、サービスの向上に努めた。

### 4. 法人経営基盤の強化

#### (1) 実施概要

経済社会情勢の変化に対応した主体的な法人経営に努めるとともに、社会福祉法人制度改革に対応した経営組織の基盤強化に努めた。

#### (2) 成果及び今後の対応

○全部改正を行った定款に基づき、経営組織の改編を実施した理事会及び評議員会を開催し、法人経営の基盤強化に努めた。

○老人福祉センター及び中央コミュニティセンターの施設有料化に伴い、指定管理者として対応するとともに、適切な管理・経営に努めた。

[各種施策及び事業]

1. 法人運営事業

本会の法人運営の基盤強化や円滑な運営、広報広聴活動に努めた。

(1) 理事会、評議員会、評議員選任・解任委員会及び監事会開催状況

理事会

会議区分	開催日 開催場所	議 題 等
理事会 理事 出席7名 欠席4名 監事 出席1名	5月18日 江南市民体育会館	第7号 平成28年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業報告について 第8号 平成28年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支決算について 第9号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会市民福祉基金設置規程の一部改正について
理事会 理事 出席10名 欠席1名 監事 出席2名	6月1日 江南市老人福祉センター	第10号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会会長、副会長の選任について 第11号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会常務理事の選任について 第12号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会顧問の選任について 第13号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会職員就業規則等の一部改正について
理事会 理事 出席9名 欠席2名 監事 出席2名	3月19日 江南市老人福祉センター	第1号 平成30年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業計画(案)について 第2号 平成30年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支予算(案)について 第3号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会評議員会の招集事項について 報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について

評議員会

会議区分	開催日 開催場所	議 題 等
評議員会 評議員 出席14名 欠席3名	6月1日 江南市老人福祉センター	第5号 平成28年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業報告について 第6号 平成28年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支決算について

監事 出席2名		第7号 社会福祉法人江南市社会福祉協議会理事、監事の選任について
評議員会 出席15名 欠席2名	3月27日 江南市老人福祉センター	第1号 平成30年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業計画(案)について 第2号 平成30年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支予算(案)について

### 監事会

会議区分	開催日 開催場所	議 題 等
監事会	5月17日 江南市老人福祉センター	・平成28年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会事業報告について ・平成28年度社会福祉法人江南市社会福祉協議会一般会計収支決算について
中間監査	11月22日 江南市老人福祉センター	・平成29年度江南市社会福祉協議会一般会計収支計算の中間監査について

### (2) 社協会員の募集

区長・町総代のご協力のもと、一般会員、特別会員、法人会員の募集に努めた。また、市内福祉施設において施設会員、その他関係団体等においては特別会員の募集に努めた。

### (3) 共同募金運動への協力

江南市共同募金委員会と連携し、10月1日から12月31日の共同募金運動期間に、区長・町総代のご協力のもと、戸別募金、法人募金を募った。市内学校においては学校募金へのご協力をお願いし、またボランティアのご協力により市内スーパーや江南駅等での街頭募金を行い、民間の地域福祉財源の確保に努めた。

### (4) 職員衛生委員会の実施及び産業医による職員の健康管理の実施

職員衛生委員会を月1回開催し、産業医による職員面談、健康診断結果等の健康指導、衛生教育研修会の実施及び職員の労働環境の改善等の協議を行った。また労働者の心理的な負担の程度を把握するための検査(ストレスチェック)の義務化に伴い、ストレスチェック検査を実施した。

産業医による職員面談：12名

衛生教育研修会：①脳梗塞について(7月)

②高血圧について(1月)

職員の健康診断：産業医による健康診断結果の把握：(11月)

ストレスチェック検査：69名(全職員)

### (5) 3市2町社会福祉協議会連絡協議会による連携

3市2町社会福祉協議会連絡協議会(江南市、犬山市、岩倉市、扶桑町、大口町)の緊密な相互

連携により、29年度幹事社協である犬山市社会福祉協議会の運営に基づき、各種情報交換及び研修に参加した。

開催日：①8月9日 ②3月6日

会議名等：①会長・事務局長会議 ②職員研修及び情報交換会

#### (6) 尾張部社会福祉事業連絡協議会による連携

尾張部各市(23市)の社会福祉協議会及び民生委員児童委員協議会の緊密な相互連携により、副会長として運営に参画し、研究協議会の企画運営、各種情報交換及び研修に参加した。

開催日：①4月5日 ②4月12日 ③6月29日 ④8月2～3日

⑤9月21日 ⑥10月12～13日 ⑦12月7日 ⑧1月18日 ⑨2月21日

会議名等：①第1回役員会 ②総会 ③第1回事務局長会議 ④事務担当者先進地視察研修

⑤第2回役員会 ⑥県外視察研修会 ⑦第2回事務担当者研究協議会

⑧研究協議会 ⑨第2回事務局長会議

事務担当者先進地視察研修(江南市社協による企画運営)

開催日：8月2～3日

視察地：高島市社会福祉協議会(滋賀県)

内容：1日目 たかしま流見守りネットワークについて

2日目 高島市社協福祉拠点「寄り合い処くつつき」について

参加者数：21名(事務局2名含む)

#### (7) 社協職員内部研修の実施

地域福祉計画と地域福祉活動計画を一体的に策定する中で、社協職員として計画策定の意義や策定体制の整備を行うとともに、組織内の連携強化を図ることを目的に行った。

開催月：4月、5月、6月、7月、9月、10月、11月、1月、2月、3月(計10回)

内容：地域福祉計画策定の進捗状況、各部門の事業概要及び課題・分析の共有等

部門：法人運営部門、地域福祉部門、障害相談・権利擁護部門、生活困窮者相談部門、居宅介護支援部門、訪問介護部門

#### (8) 社会福祉士実習の実習生の受け入れ

国家資格である社会福祉士の受験資格取得のための現場実習の受け入れを行い、学生への指導、評価を実施した。

受け入れ実施校：日本福祉大学6名、同朋大学2名

受け入れ日数：1名あたり8日～24日

## 2. 地域福祉活動事業

地域におけるふれあい・いきいきサロンの推進、単独移動困難者への移送サービスの実施、民生委員児童委員協議会の活動に対して支援を行った。

(1) 高齢者ふれあい・いきいきサロンの実施

小地域(25サロン)において、ひとり暮らしや閉じこもりがちな高齢者が気軽に出かけて仲間づくりを行ったり、活動等を行うことでいきいきと暮らせるための居場所づくりを実施した。

\*ほのぼのサロン(H15.6~)

開催回数:月2回(第2・4金曜日)

開催場所:老人福祉センター

29年度実績:延べ850名(22回開催、平均38.6名)

\*ひまわりサロン(H16.7~)

開催回数:月1回(第3水曜日)

開催場所:草井地区学習等供用施設

29年度実績:延べ420名(12回開催、平均35.0名)

\*3R宮田サロン(H18.8~)

開催回数:月1回(第3木曜日)

開催場所:宮田地区学習等供用施設

29年度実績:延べ241名(12回開催、平均20.0名)

\*菜の花サロン(H15.4~) ※社協の支援開始はH19.4~

開催回数:月1回(第4木曜日)

開催場所:布袋ふれあい会館

29年度実績:延べ301名(11回開催、平均27.3名)

\*さわやかサロン(H20.5~)

開催回数:月1回(第3水曜日)

開催場所:古西公民館

29年度実績:延べ180名(12回開催、平均15.0名)

\*ジョイフルサロン(H20.7~)

開催回数:月1回(第4水曜日)

開催場所:ジョイフル江南

29年度実績:延べ274名(12回開催、平均22.8名)

\*上奈良気ままサロン(H22.1~)

開催回数:月1回(第2月曜日)

開催場所:上奈良公民館

29年度実績:延べ600名(12回開催、平均50.0名)

\*ふれあいサロンなごやか (H23. 4～)

開催回数: 月1回 (第1水曜日)

開催場所: 山王集会所

29年度実績: 延べ361名 (12回開催、平均30.0名)

\*生き・いき・サロン前野 (H24. 10～)

開催回数: 月1回 (第3金曜日)

開催場所: 前野公民館

29年度実績: 延べ512名 (12回開催、平均42.7名)

\*ふれあいサロン藤ヶ丘 (H25. 11～)

開催回数: 月1回 (第4水曜日)

開催場所: 江南団地集会所

29年度実績: 延べ840名 (12回開催、平均70.0名)

\*ふじの郷サロン (H26. 1～)

開催回数: 月1回 (第4火曜日)

開催場所: ケアハウスふじの郷

29年度実績: 延べ309名 (12回開催、平均25.8名)

\*新開・ふれあいサロン (H26. 5～)

開催回数: 月1回 (第2金曜日)

開催場所: 新開公民館

29年度実績: 延べ300名 (12回開催、平均25.0名)

\*サロンいまいちば (H26. 5～)

開催回数: 月1回 (第2木曜日)

開催場所: 今市場公会堂

29年度実績: 延べ246名 (27回開催、平均9.1名)

\*サロンふじの会 (H26. 10～)

開催回数: 月1回 (第4火曜日)

開催場所: 宮田地区学習等供用施設

29年度実績: 延べ522名 (14回開催、平均37.3名)

\*サロンあじさいの会 (H26. 10～)

開催回数: 月1回 (第4水曜日)

開催場所: 般若町公民館

29年度実績: 延べ336名 (12回開催、平均28.0名)



\*小脇生きいきクラブ (H26. 10～)

開催回数：月6回 (毎週火曜日及び第2・4土曜日)

開催場所：小脇会館

29年度実績：延べ759名 (63回開催、平均12.0名)

\*力長サロン (H27. 4～)

開催回数：月2回 (第2、4木曜日)

開催場所：力長公会堂

29年度実績：延べ655名 (22回開催、平均29.8名)

\*北山サロン (H27. 7～)

開催回数：月4回 (第1～4月曜日)

開催場所：北山公民館

29年度実績：延べ760名 (48回開催、平均15.8名)

\*なか般若サロン (H27. 10～)

開催回数：月1回 (第2水曜日)

開催場所：中般若会館 (学供)

29年度実績：延べ185名 (12回開催、平均15.4名)

\*サロン前飛保 (H28. 4～)

開催回数：月1回 (第2金曜日)

開催場所：前飛保公会堂

29年度実績：延べ407名 (12回開催、平均33.9名)

\*安良健康サロン (H29. 5～) ※29年度新規立ち上げ

開催回数：毎週金曜日

開催場所：安良会館

29年度実績：延べ1043名 (42回開催、平均24.8名)

\*そもと貯筋の会 (H29. 6～) ※29年度新規立ち上げ

開催回数：毎週金曜日

開催場所：安良会館

29年度実績：延べ518名 (43回開催、平均12.0名)

\*南山サロン (H30. 2～) ※29年度新規立ち上げ

開催回数：月2回 (毎月第2・4火曜日)

開催場所：南山公民館

29年度実績：延べ57名 (4回開催、平均14.3名)

\*ピッコロサロン（H30. 2～） ※29年度新規立ち上げ

開催回数：月4回（毎月第2・4火曜日及び木曜日）

開催場所：喫茶ピッコロ

29年度実績：延べ 名（8回開催、平均 名）

## （2）ふれあい・いきいきサロンスタッフ交流会の実施

市内でふれあい・いきいきサロンを実施しているスタッフの方々を対象に情報交換や意見交換を目的に、交流会を実施した。

開催日：1月22日

開催場所：江南市民体育会館

内容：事務局説明、関係機関からの情報提供、グループに分かれての情報交換、意見交換

参加者：62名

## （3）ふれあい・いきいきサロンスタッフ研修会の実施

市内でふれあい・いきいきサロンを実施しているスタッフの方々を対象に、サロンでの課題や状況について報告し、今後の活動を円滑に進めていくことを目的に研修会を実施した。

開催日：2月26日

開催場所：江南市民体育会館

内容：①ふれあい・いきいきサロンを取り巻く状況についての報告

②サロンで活用できるプログラムの紹介

参加者：55名

## （4）心に病のある方の居場所（フリースペース）づくりの実施

地域において、心に病のある方が気軽に出かけることのできる居場所である「ハートフレンズ」を行政、学識経験者、関係機関・施設・団体、ボランティアと協働体制で実施した。月1回のハートフレンズ運営委員会に参画し、個別対応や運営について協議を行った。また、空色ファクトリーがフリースペース活動として運営する「Honwaka（ほんわか）」の活動を支援した。

\*ハートフレンズ（H20. 4～）

開催日：毎週金曜日

開催場所：老人福祉センター

29年度実績：延べ911名（50回開催、平均18.2名）

\*ハートフレンズ運営委員会

開催日：毎月第3火曜日

開催場所：江南保健所

協働機関：江南市役所、江南保健所、しらゆり・ワーク、精神障がい者江南家族会・藤花会、精神保健福祉ボランティアグループあい・愛、社会福祉協議会

\*Honwaka (ほんわか) (H26. 4～)

開催日：第1水曜日

開催場所：老人福祉センター

29年度実績：延べ154名（12回開催、平均12.8名）

### (6) 移送サービスの実施

単独移動困難者を対象に、車いす対応福祉車両にて運転ボランティアの協力を得て実施した。車いす対応車両を買い替え、環境整備を進めるとともに、運転ボランティア同士や事務局との意見交換を目的に情報交換会を実施した。

実施件数：延べ170件/年      利用者数：延べ328名/年（ヘルパー等同乗者を含む）

\*運転ボランティア情報交換会

開催日：12月      日

開催場所：老人福祉センター

参加者：7名

## 3. ボランティアセンター活動事業

ボランティアセンターの機能強化を図り、市民のボランティア活動への理解と参加の促進に努めた。

### (1) 登録ボランティアグループへの活動支援

福祉を主たる目的とした登録ボランティアグループ（14団体）の支援と情報提供及びボランティア活動保険の加入促進を実施した。

- ・当事者とボランティアグループの交流会の支援
- ・ボランティアグループの研修支援
- ・ボランティア同士の交流を図るボランティアサロンへの支援

### (2) 各種ボランティア関連講座の開催

ボランティアグループの協力により、各種講座を開催し、ボランティアの育成に努めた。

#### ・点訳講習会の開催

点訳ボランティアグループたまづさ会の協力により、視覚障がい者への情報を点訳するためのボランティアを養成するために開催した。

開催日：5月17日～6月14日（計5回）

開催場所：老人福祉センター

内 容：点字の基本的な打ち方について、視覚障がい者との交流

参加者：2名

・聞こえのサポーター教室の開催

要約筆記サークル藤の協力により、難聴・中途失聴者へのコミュニケーション方法である要約筆記ボランティアを養成するために開催した。

開催日：①6月17日～6月21日（3回） ②11月4日～11月18日（3回）

開催場所：老人福祉センター

内容：要約筆記の基本的な方法、難聴・中途失聴者の理解、ホワイトボード作成、コミュニケーション方法等について

参加者：①3名 ②2名

・社協国際婦人の会講座の開催

社協国際婦人の会の協力により、地域における隣人同士のつながりの良さを深めるために、各種講座を開催した。

開催日：①5月5日 ②10月13日

開催場所：老人福祉センター他

内容：押し花手帳講座

・ボランティア講座（障がい理解）の開催

福祉施設「くるみの里」の協力により、障がい者施設が求めるボランティアの役割や必要性を理解するために開催した。

開催日：①10月7日 ②10月12日

開催場所：くるみの里、他

内容：施設での作業体験、利用者への通院介助の同行、余暇活動（カラオケ活動）の支援

参加者：10名

・ボランティアサロンの開催

ボランティア相談員の協力により、登録ボランティアグループの新規会員や代表者を対象に活動のきっかけや想いを語りながら、振り返る場（サロン）を通じて意見交換を行った。

開催日：①2月3日 ②2月6日

開催場所：老人福祉センター

内容：グループに分かれての意見交換

参加者：①10名 ②7名

(3) ボランティア相談の実施

ボランティア活動を始めたい人、ボランティアを必要としている人のコーディネートを実施した。ボランティア相談員会議を定期的に開催し、情報共有を図るとともに、出張ボランティア相談も実施しボランティア活動及び社協事業の啓発を行った。

相談日時：第2・4月曜日、毎週土曜日の午後1時30分～3時30分

相談件数：13件

#### (4) 西尾張ブロックボランティアフェスティバルの開催

西尾張ブロック14市町村社協及びボランティア代表で組織された推進委員会として、西尾張ブロックボランティアフェスティバル推進委員会のボランティア代表及び社協職員との連携を密にしながら当日のボランティアフェスティバルを盛大に実施した。

開催テーマ：「よりそい愛、ささえ愛」～手と手を携えて～

開催日：12月10日

開催場所：一宮市尾西市民会館、尾西生涯学習センター

内容：オープニングアトラクション「障害者と太鼓グループののはな&春明太鼓保存会」  
ステージ企画Ⅰ「尾州発 夢をかなえる服づくり」  
ステージ企画Ⅱ「リーディングシアター『ぬくもり』&ライブアート」  
ブースコーナー他

#### (5) 西尾張ブロック社会福祉協議会災害救援担当者会議への出席

西尾張ブロック管内市町村社協間で締結した『西尾張ブロック社会福祉協議会』災害救援活動への相互応援に関する協定に基づき、被災地社協への支援体制や情報共有等に関する会議に出席した。

開催日：8月28日

主な議題：社協災害対応支援部会の報告、災害発生時の連絡方法について、他

#### (6) 防災訓練（シェイクアウト）の実施

地震が発生した時にどのような行動を起こすべきか、自身が普段生活している場所は災害時には安全なのか等、防災を身近に感じ、考えるきっかけとするとともに、地域住民、関係団体及び関係機関に周知を行い防災に対する意識高揚のため実施した。

実施日：9月1日（防災の日）

実施場所：老人福祉センター

参加対象：本会職員、江南市社協登録ボランティアグループ、老人福祉センター利用者及び中央コミュニティ・センター利用団体

#### (7) ボランティアセンター運営委員会の開催

ボランティアセンター運営委員による課題検討や事業報告、情報共有、意見交換等ボランティアに関わる事項についての協議を年6回開催した。

開催日：①5月13日      ②7月15日      ③9月16日

④11月18日      ⑤1月20日      ⑥3月17日

主な議題：①平成28年度ボランティア相談の実施報告について

②地域福祉計画策定によるボランティア・NPO団体ヒアリング報告書について

③西尾張ブロックボランティアフェスティバルについて

④第9回ふくし江南ふれあいまつりの結果報告について

⑤地域福祉（活動）計画策定の進捗状況について

⑥平成30年度のボランティアセンター関連事業について

#### (8) ボランティア活動保険の受付等の実施

ボランティア活動者及び行事に係るボランティア保険の受付及び保険請求業務を実施した。

ボランティア保険加入者：2, 481名（内登録ボランティアグループ会員：154名）

#### (9) 備品機材の購入及び貸出業務の実施

地域福祉の向上に寄与することを目的にボランティアグループ及びサロン団体等への貸出業務を実施した。

貸出機材：①わたがし機1台 ②ポップコーン機1台

貸出実績：①10回 ②6回

### 4. 共同募金配分金事業

市民からの善意によって集められた共同募金に対し、本会は受配団体として、地域福祉事業の実施や福祉団体への支援、福祉教育の推進、要支援者への援護等、地域福祉の推進に努めた。

また福祉的支援を必要とする方に対し、歳末たすけあい募金や市民福祉基金を活用し、金品（ギフトカード）の配布を行った。配布にあたっては民生委員児童委員にご協力いただいた。またふれあい・いきいきサロンやボランティアグループの歳末事業に配分を実施した。

#### 【地域福祉計画・地域福祉活動計画の一体的策定事業】

##### (1) 策定経過

28年度及び29年度の2年をかけ、30年度から35年度の6年間を計画期間とした、市行政の総合的な福祉施策の指針を示す「地域福祉計画」と本会の「地域福祉活動計画」を一体的に策定した。

- ・ 5月23日～6月12日 団体ヒアリングの実施
- ・ 6月24日 若い世代へのアンケートの実施
- ・ 7月5日 第4回合同策定部会
- ・ 7月13日 第3回江南市地域福祉計画策定会議
- ・ 7月25日 第3回江南市地域福祉計画策定委員会
- ・ 8月25日 第5回合同策定部会
- ・ 8月30日 第4回江南市地域福祉計画策定会議
- ・ 9月26日 第4回江南市地域福祉計画策定委員会
- ・ 10月14日 各種団体懇親会
- ・ 11月2日 第6回合同策定部会
- ・ 11月14日 第5回江南市地域福祉計画策定会議
- ・ 11月20日 第5回江南市地域福祉計画策定委員会
- ・ 12月22日～1月22日 パブリックコメントの実施
- ・ 1月14日 地域福祉推進シンポジウム開催
- ・ 1月31日 第7回合同策定部会
- ・ 2月14日 第6回江南市地域福祉計画策定委員会

## (2) 地域福祉推進シンポジウムの開催

地域福祉に関する啓発と地域福祉の推進に向けた機運醸成のため、地域福祉推進シンポジウムを開催した。

開催日：1月14日

開催場所：江南市民文化会館小ホール

参加人数：300名

内 容：第1部 基調講演

題名 ガッテン流！ちょ～おいしい！健康づくり術

～認知症予防&ダイエットのウソ・ホント～

講師：北折 一 氏

第2部 パネルディスカッション（事例紹介）

地域活動をしている方からの事例紹介

進行（コーディネーター）：柏原 正尚氏

パネリスト：岩根 佐代子氏（NPO法人子どもと文化の森代表）

村瀬 秀子氏（生き・いき・サロン前野代表）

永田 幸子氏（江南南部包括支援センター管理者）

コメンテーター：北折 一氏

第3部 地域福祉計画の地区計画の紹介

## 【本会事業の広報および情報発信事業の推進】

### (1) 機関紙「社協だより」の発行

社会福祉協議会の事業等を市民に周知し、福祉への理解と関心を高めることを目的として年6回発行した。

発行日：①4月1日号（171号） ②6月1日号（172号） ③8月1日号（173号）

④10月1日号（174号） ⑤12月1日号（175号） ⑥2月1日号（176号）

発行先：市内全戸配布

内 容：平成29年度事業計画・収支予算、平成28年度事業報告・収支決算、理事会・評議員会の開催報告、社協会員募集のお願い、社協事業紹介、各種講座の参加者募集・事業報告、福祉関係団体に関する情報発信、ボランティアグループ同士によるインタビュー企画、民生委員制度100周年記念企画（民生委員へのインタビュー）等

## 【高齢者福祉事業の推進】

### (1) 敬老会及び結婚50年お祝い事業の開催

江南市と共催により敬老会及び結婚50年お祝い事業を実施し、祝い品の贈呈や記念式典を行った。

開催日：9月29日

開催場所：江南市民文化会館大ホール

対象者：敬老会—75歳の1,354名に2枚1組のタオルを贈呈した。

結婚50年—夫婦76組

(2) 満100歳誕生お祝い事業の実施

江南市と共催により祝意を表し、祝い品の贈呈を行った

対象者：満100歳を迎えた方7名

(3) 高齢者団体への支援

江南市老人クラブ連合会や地区単位老人クラブへの団体活動支援及びスポーツ大会等の事業支援を行った。

(4) 江南認知症家族会への支援

認知症の方を介護する家族を中心とした「江南認知症家族会」の活動支援を行った。

【障がい児・者福祉事業の推進】

(1) 障がい者の余暇活動支援（青年学級）の実施

ボランティアグループ江南青年学級連絡会の協力を得て、障がい者の余暇活動を支援した。

実施日：隔月1回の日曜日

(2) 公募制障がい児・者生活支援事業助成の実施

共同募金の配分金を財源に地域でボランティア・市民活動団体等が資金援助を必要としている事業を公募し助成（公募制地域活動支援事業）を行った後、特に障がい児・者の地域生活支援に対し、継続性が必要な事業の支援を行った。

助成団体件数：2件（視覚障がい者パソコン学習グループありんこ江南、NPO法人のいちご）

(3) 障がい者施設地域交流事業助成の実施

共同募金の配分金を財源に江南市内の障がい者福祉施設が行う地域住民との交流を目的とした事業に助成を行い、地域における障がい者理解及び福祉施設における地域福祉推進を図ることを目的に実施した。

助成施設件数：4件（ときわ会、くるみの里、しらゆり・ワーク、たけのこ作業所）

【児童・青少年福祉事業の推進】

(1) 江南市子ども会大会における優良子ども会顕彰の実施

江南市子ども会連絡協議会より優良子ども会の推薦を受け、顕彰を実施した。

優良子ども会表彰：小村本郷子ども会

(2) 児童公園遊具設置・補修支援事業の実施

区で管理する遊園地（公園）において、申請のあった区に対し、遊具の新規設置や補修に必要な費用を助成した。

助成自治区：高屋区、宮後中区、中奈良区



(3) 子どもわんぱくキャンプの開催

ボランティアグループ江南レクリエーション・キャンプカウンセラー協会の協力により、青少年育成を目的として小学校4～6年生を対象とした1泊2日のキャンプ(8月)を実施した。

開催日：8月19日～20日

開催場所：夕森公園キャンプ場(中津川市)

参加者：31名

【母子・父子福祉事業の推進】

(1) 母子・父子家庭の小学校入学、中学校進学及び中学校卒業生徒の激励会の実施

開催日：2月18日

開催場所：老人福祉センター

対象者：小学校入学67名 中学校入学80名 中学校卒業113名

【福祉育成援助事業の推進】

(1) 第9回ふくし江南ふれあいまつりの開催

ボランティアグループ代表を主とした「ふくし江南ふれあいまつり実行委員会」を組織し、福祉関係者、関係機関、市民活動団体等と協働しながら、多くの市民の方々への啓発、交流の場をつくり、ボランティア活動や福祉活動への理解、参加の促進を目的として開催し、「2017江南市民健康フェスティバル」とも同日開催し、盛会となった。

開催日：10月1日

開催場所：市民文化会館 全館

内容：開会式セレモニー、子ども映画上映会、ミニステージ企画、ボランティア活動紹介・体験コーナー、福祉施設・団体紹介コーナー、子どもの遊び場広場、地域包括支援センター紹介コーナー、模擬店、ひだまりカフェ、スタンプラリー等

来場者数：3,750人

(2) ふくし江南ふれあいまつり実行委員会の運営支援

第9回ふくし江南ふれあいまつりの開催のために組織された実行委員会への運営支援を行い、開催準備や円滑な当日運営に寄与した。

開催日：①6月3日 ②7月1日 ③8月5日 ④9月2日 ⑤9月23日

⑥10月28日

主な議題：①ふくし江南ふれあいまつりの開催要項について

②ブース出展準備金の取扱いについて

③第9回ふくし江南ふれあいまつりの運営方法、企画内容について

④第9回ふくし江南ふれあいまつりのポスター、チラシについて

⑤第9回ふくし江南ふれあいまつりの当日運営、準備について

⑥第9回ふくし江南ふれあいまつりの事業報告及び決算について

### (3) 地域福祉人材育成事業の実施

登録ボランティアグループ会員同士によるインタビュー形式の座談会（ボランティア×ボランティア）を継続的に実施し、社協だよりに座談会内容を掲載するとともに、平成28年12月から平成30年2月に開催した座談会の記録（下巻）を作成した。

記録（下巻）内容

- ①江南市地域福祉研究会×人形劇グループわらしべ
- ②人形劇グループわらしべ×朗読ボランティアあめんぼ楡の会
- ③朗読ボランティアあめんぼ楡の会×点訳ボランティアたまづさ会
- ④点訳ボランティアたまづさ会×手話サークルこけし
- ⑤手話サークルこけし×NHK 学園サークル
- ⑥NHK 学園サークル×社協国際婦人の会
- ⑦社協国際婦人の会×ボランティアグループあすなろ
- ⑧ボランティアグループあすなろ×高齢者疑似体験ボランティアさくら会

### 【福祉教育事業の推進】

#### (1) 江南市社会福祉協力校事業の実施

江南市内小学校10校、中学校5校、江南高等学校、尾北高等学校、古知野高等学校、愛知江南短期大学を指定し、社会福祉体験活動を中心に取り組んだ。

#### (2) 福祉教育プログラム開発モデル事業の実施

江南市社会福祉協力校を対象に福祉教育プログラム開発を目的とし、門弟山小学校、布袋小学校、布袋北小学校を研究モデル校とし、新規に古知野東小学校を指定し「ふくし学習」のサポートを実施した。

プログラム内容：総合的な学習の時間におけるふくし学習プログラムサポート事業

研究指定校：門弟山小学校1～6年生、布袋小学校4年生、布袋北小学校5年生

指定期間：1年間

#### (3) 福祉実践教室の開催

学校における福祉体験活動メニューとして、学校からの依頼を受け、講師派遣の調整を実施した。

科目及び実施回数：車いす8回、手話12回、要約筆記3回、点字10回、視覚障がい者ガイド10回、盲ろう者通訳ガイド5回、高齢者疑似体験9回、知的障がい者理解促進軽スポーツ1回

実施校及び参加生徒数：延べ12校 延べ2,682名

#### (4) 夏休み福祉体験学習事業（短期ユースアクション事業）の実施

中学生・高校生を対象に夏休みに市内の福祉施設やボランティア活動などの福祉体験学習を実施した。

参加人数：延べ448名

(5) 子ども福祉塾の実施

小学校4～6年生を対象に車いす体験ツアーや福祉施設での当事者交流等の地域における福祉教育プログラムを実施した。

開催日：①9月11日 ②10月30日 ③11月20日 ④12月11日  
⑤1月22日 ⑥2月19日 ⑦3月12日

内容：①人がいるから福祉が生まれる(協力者：子ども福祉塾ホーター)  
②ゲームを通して気持ちについて考えてみよう(協力者：子ども福祉塾ホーター)  
③車いすの方と趣味を一緒に体験してみよう(協力者：くるみの里)  
④お年寄りと探検！？(高齢者擬似体験)(協力者：さくら会)  
⑤障がいのある方と料理を通して交流(協力者：たけのこ作業所)  
⑥人形劇を演じて学ぶ(協力者：人形劇グループわらしべ)  
⑦町中ウォークラリー(協力者：江南レクリエーション・キャンプ・カウンセラー協会)

参加者：12名

(6) こどもフェスティバルへの参加

江南市とこどもフェスティバル運営協議会が主催したこどもフェスティバルに、江南市身体障害者福祉会聴覚部及びくるみの里の協力を得て、福祉体験ブースを開設した。

開催日：5月28日

開催場所：すいとびあ江南

内容：①手話で話そう(手話サークルあけぼの会、こけしの協力)  
②車いすに乗ってみよう(くるみの里の協力)  
③文字や絵で伝えよう(要約筆記サークル藤の協力)

体験者：①328名 ②532名 ③176名

(7) 介助犬PR事業の実施

社会福祉法人日本介助犬協会総合訓練センターに協力を依頼し、児童を対象に介助犬PR犬及び職員を市内小学校に招き、デモンストレーション等を実施した。

開催日：11月28日、30日、1月19日、25日、26日(計5日間)

実施校：古知野東小学校(3年生142名)、古知野西小学校(2年生67名)、古知野南小学校(4年生134名)、古知野北小学校(4年生71名)、布袋小学校(4年生147名)、布袋北小学校(5年生74名)、宮田小学校(5年生104名)、草井小学校(3年生73名)、藤里小学校(5年生46名)、門弟山小学校(4年生65名)(計10校)

内容：身体障がい者補助犬等の講話、介助犬PR犬によるデモンストレーションの実施

【社会的支援が必要な方への相談・援護事業及び市民生活の支援】

(1) 無料法律相談の実施

高齢者と障がい者を対象とし、主に権利擁護を中心とした弁護士による無料法律相談を実施した。

相談件数 高齢者：11件 障がい者：0件

(2) 火事見舞金の支給

火事によって全焼及び半焼の被害があった世帯に対し見舞金の支給を行った。

支給件数：5件（全焼2件、半焼3件）

【歳末たすけあい配分金事業】

市民からの善意によって集められた歳末たすけあい募金に対し、本会は受配団体として社会的支援が必要な方への生活支援及びボランティアやふれあい・いきいきサロン活動を支援した。

(1) 社会的支援が必要な方への生活支援（給付金等）

社会的支援が必要な方に対し、民生委員児童委員にご協力いただき給付金の配布、障がい者団体が実施するクリスマス会のプレゼントの配分を行った。

対象者：①知的障がい児・肢体不自由児世帯 ②要保護児童世帯 ③在宅高齢者

配分件数：①512件 ②1202件 ③672件

(2) 高齢者ふれあい食事会の開催

古知野第一地区民生委員児童委員にご協力をいただき、ひとり暮らし高齢者を主な参加対象とした食事会を実施した。今年度から参加者が増加したため2回に分けて開催した。余興では保育園児と交流を行った。

開催日：①11月17日 ②12月15日

開催場所：老人福祉センター

参加者数：①81名 ②65名

(3) ボランティアグループ及びふれあい・いきいきサロン事業への助成

ボランティアグループ及びふれあい・いきいきサロン団体が行う歳末事業へ助成を行った。

配分件数：ボランティアグループ 1件

ふれあい・いきいきサロン団体 24件

5. 福祉センター管理事業

指定管理者として江南市老人福祉センター（1階）及び江南市中央コミュニティ・センター（2階）の適切な管理・経営を実施した。

### (1) 老人福祉センター（1階）の利用状況

江南市内に居住する60歳以上の方が利用でき、健康の増進や教養の向上、老人クラブ等の地域間クラブ交流により、生きがいの場をつくることを目的に、老人福祉センターの会館管理を行うとともに、利用者ニーズを把握し施設利用の改善に努めた。今年度から浴場の有料化に伴い、適切な管理・経営を行った。

区分	個人	21,656名	1日平均	99.9名	開館日数	346日
	団体	12,914名				
	合計	34,570名				

(参考：28年度)

区分	個人	30,026名	1日平均	124.6名	開館日数	346日
	団体	13,090名				
	合計	43,116名				

### (2) 中央コミュニティ・センター（2階）の利用状況

各種コミュニティ組織による活動を活性化し、地域住民が快適で健全な日常生活が過ごせるような生活環境の整備、向上に資することを目的に中央コミュニティ・センターの会館管理を実施した。今年度から使用料の有料化に伴い、適切な管理・経営を行った。

(単位：名)

会場	第1和室	第2和室	会議室1	会議室2	講習室	実習室	計
計	6,687	6,992	11,989	12,273	12,691	15,365	65,998
1日平均	18.7	19.5	33.5	34.3	35.3	42.9	184.4

開館日数：358日

(参考：28年度)

(単位：名)

会場	第1和室	第2和室	会議室1	会議室2	講習室	実習室	計
計	5,541	5,251	9,676	8,994	7,331	11,698	48,491
1日平均	15.5	14.7	27.0	25.1	20.5	32.7	135.4

開館日数：358日

### (3) 老人福祉センター健康相談実績

老人福祉センターに看護師を配置し、希望する利用者の血圧測定等を実施するとともに健康に関する相談を行った。

合計	4,778名	1日平均	13.8名	健康相談日数	346日
----	--------	------	-------	--------	------

(参考：28年度)

合計	8,034名	1日平均	23.2名	健康相談日数	346日
----	--------	------	-------	--------	------

#### (4) 足腰弱らん教室の実施

原則65歳以上の高齢者を対象とした健康体操教室を自主事業として実施した。

実施日時：毎週火曜日及び木曜日（第5週を除く）9時30分～10時30分

実施場所：老人福祉センター 大広間

開催回数：93回

参加延べ人数：5,580人（1回平均 60.0人）

講師：鈴木浩樹氏（ローズ・リボン）

### 6. 訪問介護事業

介護保険法、障害者総合支援法に基づくホームヘルパーによるサービス提供を実施し、利用者の地域自立生活の支援を行った。

#### (1) 新しい総合事業 訪問介護（ホームヘルパー派遣）事業実績

介護保険制度改正により介護予防・日常生活支援総合事業の訪問サービスA型（みなしを含む）を今年度より実施した。

訪問サービスA型		みなし（予防給付相当）		合計	
人数	派遣時間	人数	派遣時間	人数	派遣時間
267	834:50	283	1504:08	550	2238:58

#### (2) 介護保険 訪問介護（ホームヘルパー派遣）事業実績

介護保険の要介護の認定を受けられ、江南市社会福祉協議会の訪問介護サービスを利用された方の利用状況。

（単位：名、時間）

介護予防		介護保険		合計	
人数	派遣時間	人数	派遣時間	人数	派遣時間
188	964:05	628	10100:35	816	11064:40

#### (3) 障害福祉サービス事業 訪問介護（ホームヘルパー派遣・移動支援）事業実績

身体・知的障がい児、者及び精神障がい者の方が江南市社会福祉協議会の訪問介護サービスを利用された方の状況。

（単位：名、時間）

ホームヘルパー派遣							移動支援		合計	
人数	派遣時間						人数	派遣時間	人数	派遣時間
	身体障がい者	知的障がい者	精神障がい者	重度訪問	同行援護	計				
203	371:00	1203:50	600:40	0:00	3:40	2179:10	3	4:00	206	2183:10

#### (4) 母子家庭等日常生活支援事業（ホームヘルパー派遣）事業実績

母子家庭や父子家庭（ひとり親家庭）に日常生活を営むのに支障が生じている場合、家庭生活支援員を派遣しその生活を支援し、母子家庭等の生活の安定を図ることを目的とし、市よりの委託事業として実施した。

利用者数	利用日数	派遣時間数
9名	延べ16日	119:00

#### (5) 処遇改善事業の実施について

介護職員（ホームヘルパー）の処遇改善を実施した。

処遇改善の内容 ①賃金改善（一時金の支給 6月・12月）

②介護職員の処遇 教育、研修、職場環境等の改善

研修内容：リスクマネジメント・ヒヤリハット研修、熱中症予防、個人情報保護・利用者のプライバシー保護、応急手当、感染症・消毒薬、生活習慣病、技術指導について等

### 7. 居宅介護支援事業

介護保険法に基づき、ケアマネジャーがケアマネジメントを実施し、ケアプランの作成等の居宅介護支援を実施し、利用者の地域自立生活の支援を実施した。

#### (1) 介護保険 居宅介護支援事業実績

介護保険の要介護認定を受けられ、江南市社会福祉協議会の居宅介護支援（ケアプラン作成、ケアマネジャー業務）のサービスを利用された方の月別の利用状況です。

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護予防	28	27	26	25	25	24	27	30	30	28	30	29	329
介護保険	105	103	109	106	107	111	109	107	108	112	110	106	1,293
計	133	130	135	131	132	135	136	137	138	140	140	135	1,622

#### (2) 市受託事業

◎介護保険 訪問調査事業実績（介護保険認定審査会の第一次判定資料作成業務）

・江南市 年間延べ 87件

## 8. 障害者相談支援センター事業

障がいのある方やその家族が、生活の中で直面する様々の課題に対する解決方法等について、相談者と一緒に考え、改善のための方法が見つけられるよう支援を行った。

### (1) 江南市基幹相談支援センター事業の一部受託

江南市が設置する江南市基幹相談支援センター事業の障害児・者相談支援業務を一部受託し、障がいがあっても安心して地域で暮らせるよう、福祉サービスに関する情報提供や権利擁護に関する相談支援を行った。

○相談支援利用者：128名（障がい者126名 障がい児2名）

#### ○支援方法

(単位：件)

訪問	来所相談	同行	電話相談	電子メール	個別支援会議	関係機関	計
540	755	43	2,200	27	44	558	4,167

#### ○支援内容

(単位：件)

福祉サービス利用支援	健康・医療に関する支援	不安解消情緒安定に関する支援	家計・経済に関する支援	生活技術に関する支援	就労に関する支援	社会参加余暇活動に関する支援	権利擁護に関する支援	家族関係、人間関係に関する支援	計
1,213	530	254	1,782	648	69	39	1,801	525	6,861

### (2) 障害福祉サービス等の利用計画の作成

障害者総合支援法及び児童福祉法に基づき、障がい児・者が給付サービスを利用する際にはサービス等利用計画の作成が必要になり、障害福祉サービス等の利用を希望する障がい者の総合的な援助方針や解決すべき課題を踏まえ、最も適切なサービスの組み合わせ等について検討し、作成を行った。

サービス等利用計画作成実績：60件

## 10. 権利擁護推進事業

認知症高齢者や知的障がい者、精神障がい者等の自己判断能力が不十分な方等が権利侵害されることなく、自らの能力に応じてできる限り地域で自立した生活が送れるよう支援を行った。

### (1) 江南市成年後見センターの運営

高齢者や障がい者等の権利擁護として、江南市成年後見センターの適正な運営を実施した。

#### <江南市成年後見センターの事業内容及び活動状況>

低所得者層の高齢者や障がい者で身寄りがなく、自己判断能力が不十分になった方への権利擁護のための支援を行った。



- ・成年後見制度や日常生活自立支援事業等の利用による相談及び手続に関する支援
- ・市長申立の事務支援
- ・法人後見人等の受任
- ・成年後見制度等の普及、利用の啓発
- ・その他センターの運営に関し、必要な事業

法人後見の新規受任	1件
後見人等業務	12件
成年後見制度に関する相談	23件
後見制度の普及・啓発	1件
法人後見の受任終了	1件

## (2) 日常生活自立支援事業の実施

日常生活に不安を抱え、自己判断能力が乏しい方への権利擁護として、金銭・書類管理を行う「日常生活自立支援事業」が、小牧市社協から事務移管し、愛知県社協からの受託事業として、江南市内の利用者及び生活支援員への支援を行った。

利用者（契約者）数：41名　生活支援員：15名　利用件数：延べ44件

### 1.1. 生活困窮者自立相談支援事業

生活困窮者自立支援制度の施行に伴い、27年度から市行政より「自立相談支援事業」を受託し、生活困窮者への包括的かつ継続的な相談支援体制の整備及び生活困窮者支援を通じた地域づくりに努めた。

#### (1) 自立相談支援事業実績

経済的困窮（生活保護を除く）や社会的孤立に陥っている方に対し、支援員が相談を受けて、どのような支援が必要かを相談者とともに考え、自立に向けた支援を行った。

(単位：件)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談受付	8	8	7	7	4	3	2	5	10	5	4	8	71
就労者数	1	1	0	2	0	0	1	0	0	1	0	5	11

#### (2) フードバンク活用支援事業の実施

NPO 法人セカンドハーベスト名古屋と協定を結び、生活困窮等生活上の困難に直面している江南市民に対して、食糧支援を通じ、生活の立て直しを図ることを目的に実施した。

事業実績：17件

### 1.2. 資金貸付事業

愛知県社会福祉協議会が実施する、生活福祉資金制度等の相談窓口として、低所得者や障がい者世帯、高齢者世帯、離職者世帯への支援を行うとともに、本会が実施する一時援護金貸付事業を通じて、生活困窮者への支援を行った。

(1) 生活福祉資金貸付事業の実施

低所得者や障がい者世帯、高齢者世帯への各種資金の貸付と民生委員児童委員の協力による生活指導の実施を行った。

貸付件数：なし 現在の貸付件数：51件（内 総合支援資金：25件）

相談件数：28件

(2) 一時援護金貸付事業の実施

一時的に生活費に困っている方に1万円（最高2万円）の貸付を行い、面接調査や生活指導を実施し、貸付対象者の生活状況の把握や自立支援に努めた。

貸付件数：15件 相談件数：52件

13. 市民福祉基金事業

相互扶助の高揚と寄付の啓発を図るとともに、市民福祉基金の有効な運用や活用に努めた。

寄付件数：17件

寄付金額：954,734円